

14113 言語学 Linguistics		1 年次～ 通年 4 単位	
担当者	猿田 知之	履修可能学科	E Pe Pc C選必 W F
		関 連 資 格	日本語選必(E・Pe・Pc・C)
サブタイトル	言語学にふれる		
授業内容 ・ ねらい	努力目標:外国語の知識が増えれば、それだけ世界がひろまることが実感でき、同時に気軽に外国語に触れる態度が養われる。		
授業計画	1 回. ことばと人間。 2 回. 人間言語の特色とは何か。 3 回. 言語学の成立。 4 回. 言語学の展開。 5 回. 音声の分類と各言語の音声比較。 6 回. 音韻体系と音楽。 7 回. アクセントと各言語。 8 回. 世界の文字。 9 回. アジアの文字(漢字とハングル)。 10 回. 語とは何か。 11 回. 語の構成と分析。 12 回. 語には体系があるか。 13 回. 辞典の話。 14 回. 語と文の中間にある「句」について。 15 回. 総括と後期講義ガイド。 16 回. 統語論について。 17 回. 文の構造を学ぶ(日本語と英語を比較する)。 18 回. 文生成について(生成文法の初歩を学ぶ)。 19 回. 文法的カテゴリーの設定と種類。 20 回. 文法的カテゴリーⅠ(性・数)。 21 回. 文法的カテゴリーⅡ(人称・格)。 22 回. 文法的カテゴリーⅢ(テンス・アスペクト)。 23 回. 文法的カテゴリーⅣ(ヴォイス)。 24 回. 文法的カテゴリーの配列。 25 回. 意味とは何か(意味論)。 26 回. 語の意味Ⅰ(意味関係)。 27 回. 語の意味Ⅱ(意味変化)。 28 回. 隠喩とメトノミー(認知言語学の初歩を学ぶ)。 29 回. 文の意味を考える。 30 回. 総括、言語学的に考えるとどういふことか。		
教科書 参考書	参) 佐久間淳一著『言語学入門』(研究社)1,800円＋税		
評価方法	試験成績を主とし、出席率を加味する。		
事前準備学習 履修条件等	次回講義で学習する専門用語の調べを指示する。		